

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院
呼吸器外科、心臓血管外科
研究責任者： 村田 賢祐

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 人工弁の種類とサイズによる予後の検討

研究の目的

大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術後において、左心室の重量が大きいと心臓・大血管の合併症の発生率や死亡率が上昇することが報告されています。しかし大動脈弁置換術後の治療効果を判断する指標は定まったものがないため、術後の左心室重量の減少率を治療効果を判定する指標とし、使用した人工弁の種類とサイズが左心室重量の減少率に影響するか調べます。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

対象となる方 2014 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までの間、附属病院心臓血管外科を受診し、大動脈弁狭窄症と診断され、生体弁での大動脈弁置換術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢や併存症・既往歴などの治療に関連する患者情報、心エコー検査データ、手術内容について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	呼吸器外科、心臓血管外科・村田賢祐 murakenken@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---